

中学部通信

平成29年4月11日



中学部通信第3号は、年度の初めに、CLASSI(クラッシー)の利用方法について、説明します。1年生の皆さんは、なじみが無いと思いますが、昨年度よりICT教育の一環として、本校では学習支援ソフトCLASSI(クラッシー)を導入しています。附属中学校では、まだ利用2年目なので、活用が不十分な点もあります。今年度は、昨年度より少しでも積極的、かつ、効果的に利用できるように取り組んでいきたいと考えています。そのために、この中学部通信第3号は、CLASSI(クラッシー)特集号とします。



【CLASSI(クラッシー)START】

① クラッシーは、自宅のパソコンで利用できます。まず、検索サイトで、「クラッシー ベネッセ」(ベネッセの前にスペースを入れる)と入力し、検索結果から、「生徒向けログイン」をクリックしてください。ログイン画面が出たら、担任の先生からもらったIDとパスワードを入力してください。

※今年度から、附属中学校では、保護者の方にも、生徒の皆さんと同じID、パスワードで、生徒の皆さんが見ているものと同じ画面を見てもらうこととしました。

ですから、ID、パスワードは必ず、生徒本人と保護者の両方で共有するようにしてください。こうすることで、保護者の方々にも、生徒がどのような内容を学習しているかがわかり、どのような連絡を受け、どのような学習状況であるかも、より理解しやすくなると思います。

(携帯電話でも利用可能です。保護者の方が携帯電話を使って確認される場合には「Class i生徒用」のアプリをダウンロードしてお使いください。ただし、生徒の皆さんは、特別な事情のない限り、パソコンを使用してください。)

※なお、自宅にインターネット利用可能なパソコンがない人は、学校でタブレットを使って利用することになるので、担任の先生に申し出てください。

【画面を開いたら】


ログインすると最初の画面には、「ホーム」と最上段に書かれ、その下に、日付けが出ます。

① まず、日付けの横の「お知らせ」(横にベルマークあり)のところをクリックしてください。そして、出てきた画面上の「サービス通知」と「学校からのお知らせ」の欄の内容を必ず確認しましょう。(※お知らせに未確認の項目があると必ず、○囲みの数字で表示されます。)

② 「お知らせ」確認後は、右上段の「メニュー」をクリックし、「成績カルテ」、「Webテスト」、「Webドリル」、「学習動画」、「アンケート」、「コンテンツボックス」、「学習記録」、「カレンダー」、「メッセージ」、「校内グループ」、「設定・登録」となっている項目を確認します。項目に印(マーク)の付いたものがあれば、それをクリックし内容を確認してください。

③ 「校内グループ」に印が付いていれば「校内グループ」を確認します。何か問題や、課題、連絡が先生から出されていれば、そのグループの所に、「赤い●」が付いています。赤い丸の付いた「グループ」のところは、必ずクリックし、その内容を確認し、指示に従ってください。(※「お知らせ」の「サービス通知」で、「○○先生が『○○』を○○に投稿しました。」とあれば必ず投稿されています。)

【毎日、必ず記入することは】

① 最後に、その日の家庭学習が終わったら、必ず寝る前に、「学習記録」の項目をクリックしてください。すると、「学習時間の比率や、学習時間の推移」が書かれた画面が出ます。画面の左上の、「入力・編集」ボタンをクリックしてください。

② 次の画面で、順次、「活動時間」「学習時間満足度」「学習内容満足度」と記入していただきます。(※「学習時間満足度」「学習内容満足度」はいずれも、その日の学習時間満足度、学習内容満足度について記入してください。)

③ 「教科別学習記録」については、その日の家庭学習の教科ごとの合計時間を記入し、学習内容についても記入してください。

④ 「読書」については、内容の欄に『書名』(著者名)を記入してください。

⑤ テレビ・ビデオも総時間数を記入し、見たテレビ番組のタイトルを記入してください。

ゲームについても総時間数を記入し、ゲーム名を記入してください。


SNS、インターネットについては総時間数のみを記入してください。

いずれもやらなかった場合は「00」時間「00」分と記入してください。

⑥ 「一日の振り返り」欄は、必ずその日の振り返りについて、文章で記入してください。

全てを記入したら、「内容を確定する」ボタンをクリックしてください。

以上が、CLASSI(クラッシー)の基本的な利用方法となります。

この他にも、機能がありますが、また、必要な時に説明します。不明な点は、遠慮せずに聞いてください。

折々の言葉

あなたがいるだけで

いくら頑張っても思い通りにならないこともある
 いくら望んでも変わらないこともある
 でも頑張ったことは無駄にならない
 諦(あきら)めずに希望を持つあなたの姿に
 勇気づけられる人もいる
 失ったものを数えるよりも今できることに目を向ける
 どれだけ辛(つら)いかわかってもらえなくても
 自分事のように心配してくれる人はいる
 当たり前は当たり前ではなく
 大事なものはいつもそばにある
 これ以上失わないように大切にすること
 話せること一緒に笑い合えること
 何事もなく生きられる奇跡に感謝する
 毎日願わなくても奇跡は起こっている

「そのままがいい」田口久人